

下関市立大学 平成19年度市民ゼミナール

受講のご案内

下関市立大学は、昨年度に引き続き市民のみなさんの生涯学習のために『市民ゼミナール』を開講いたします。『市民ゼミナール』は、これまで本学が市民向けに公開してきた『市民大学』とは異なり、少人数対話型のゼミナール形式による授業です。各ゼミのテーマに関心のある方は、自らの生涯学習を深める機会として下さい。予備知識は必要ありません。市民のみなさんとともに、それぞれのテーマを学び、議論し、考える、興味深い授業となるでしょう。お申し込み方法を参照の上、奮ってご応募下さい。 —今年度の受付は終了しました。

対 象 下関市内に在住、または勤務先のある方(連続受講できる方が望ましい)

内容・日程 少人数対話型のゼミナール形式による授業

*「中国古典の寓話を読む」に日程変更があります。

場 所 下関市立大学(下関市大学町2丁目1-1)

※交通アクセス(<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/access/index.html>)参照

受 講 料 無料(ただし、テキスト・資料代は実費)

お申し込み方法

往復はがきに必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

○往復はがき 住所(郵便番号)、氏名、年齢、性別、電話番号、希望のゼミ

○返信はがき 住所(郵便番号)、氏名

○送付先 〒751-8510

下関市大学町二丁目1番1号

下関市立大学附属産業文化研究所

○申し込み締切 平成19年10月5日(金) 消印有効(受付終了しました)

○決定通知 締切後、決定通知を速やかに返信はがきにてお知らせします。

なお、希望者多数の場合は抽選によって決定します。

【お問い合わせ先】

下関市立大学附属産業文化研究所

TEL 0832-54-8613 E-MAIL sanbunken@shimonoseki-cu.ac.jp

開講日程・講師・ゼミの内容について

【ゼミ1】 日本一わかりやすい哲学	
日程	[H19]10/13・21、11/3・10・18・24、12/1・8・15・22、[H20]1/12・27 (全12回) 原則毎週土曜日(10/21、11/18、1/27は日曜開講、11/3の祝日は開講) 10:30-12:00
講師	にしだ まさひろ 西田 雅弘 教授 おもな研究テーマはカント倫理学、主要著書『不安のア・ラ・カルト』、西日本新聞社、2005年。
内容	学生の頃哲学の講義を受けたが何のこともさっぱり分からなかった方、あるいは、日頃哲学のような抽象的な議論は何の役にも立たないと思っている方、さらに、人間は哲学なんかなくても生きていけると確信している方、このような方はすでに哲学の入口に立っています。『日本一分かりやすい哲学の教科書』(小須田健、明日香出版社、2003年)を読みましょう。
【ゼミ2】 社会科学としてのスポーツ	
日程	[H19]11/2・9・16・30、12/7・14・21、[H20]1/11・25、2/8 (全10回) 原則毎週金曜日 18:30-20:00
講師	なかじま けん 中嶋 健 准教授 日本におけるスポーツ産業の発展過程について現在研究中、主要著書『体育・スポーツ史研究の展望－国際的成果と課題－』、不昧堂出版、1996年。『スポーツ科学へのアプローチ』、学術図書出版社、2002年。
内容	スポーツビジネスにはどのような領域や種類があるのか。その現状と課題は何か。オリンピックやサッカーワールドカップには数千億ものカネが絡むが、そこにある功罪とは何か。プロスポーツの発展は本当に地域を活性化するのだろうか。スポーツと社会の関わりに興味を持っている方々、一緒にスポーツの歴史や現実について知り、考え、議論しましょう。
【ゼミ3】 中国古典の寓話を読む—故事成語を中心に—	
日程	[H19]10/13、11/3・10・24、12/1・8・15・22、[H20]1/12、2/2・9 (全11回) 原則毎週土曜日 10:30-12:00 (10月20日は11月3日へ変更しました)
講師	たけい かずひろ 武井 満幹 講師 おもな研究テーマは中国文学、中国の古典文学(とくに六朝の陶淵明)や漢文教育に関する業績多数。
内容	中国の古典にはしばしば寓話(たとえ話)が見られます。寓話は話自体おもしろいのですが、それが何を意味しそれをういた話し手の主張とどう対応しているかを理解することで、表現方法としてのおもしろさも味わうことができます。このようなことに注意しながら、また人物関係を把握したり他の話と比べたりしながら、中国古典の寓話を読んでいきましょう。

※講師の都合によって日時を変更する場合があります。